

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施 設 名 山梨県立八ヶ岳少年自然の家
 所 管 課 教育委員会 社会教育課
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県青少年協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	291,728,000
公益財団法人 山梨県青少年協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	486,308,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	485,434,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	383,491,814
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	R5.4.1	～	R9.3.31	4年	421,141,000

2 施設の概要

所 在 地	北杜市高根町清里3545
設 置 年 月 日	昭和48年8月21日
設 置 根 拠 (法 律 、 条 例 等)	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例
設 置 目 的	恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自律、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成することを目的とする。
主 な 業 務 の 内 容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 (4)野外観察、自然探究その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 (5)体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務
主 な 施 設 内 容 (定 員 等)	○敷地面積 約44ha ○建物面積 約5,565.42㎡ ○施設の内容 ≪管理棟≫ ・講堂(200人) ・ステージ ・第1研修室(40人) ・展示室 ・図書室 ・食堂 等 ≪研修棟≫ ・第2研修室(70人) 第3研修室(30人) 第2、第3研修室オープン利用(80人) 等 ≪体育館≫ ・1階(760㎡)、2階(24㎡) ≪宿泊棟≫ ・宿泊室(小):8室(6人用、23㎡) ・宿泊室(大):20室(8人用、23㎡) ・浴室 等 ≪観測棟≫ ・プラネタリウム ≪キャンプ場≫ ・キャンプセンター 全4サイト
備 考 (改築工事等の状況、 一括管理施設 等)	R4.3.14 八ヶ岳少年自然の家集約化工事(134,083千円) R4.3.22 八ヶ岳少年自然の家野外炊事場建築工事(12,117千円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	92,454,533	97,866,660	106,947,297	111,067,229	114,717,289	
支出合計	91,799,522	94,415,241	95,337,181	111,452,648	115,667,810	
収支差額	655,011	3,451,419	11,610,116	△ 385,419	△ 950,521	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利用実績	14,621人	15,328人	28,857人	37,803人	40,106人	
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

令和6年度は学校の行事、およびボーイスカウトやスポーツ少年団、青少年団体などの活動が新型コロナウイルス感染症前の状況に戻ったことにより、学校および青少年団体、一般団体等の利用が増加し、利用者数は40,106人となり、昨年度の37,803人に対して約2,300人増加した。また目標値の40,000人も達成することができた。利用者が安心して施設を利用していただけるよう、職員による巡回、修繕等の対応を徹底しながら施設運営に努め、利用者アンケートで要望が多かった本館のWi-Fi設備を強化し利用者の利便性の向上を図った。

「活動とつながるプログラムが欲しい」という利用者からの要望を受けて開発した「木のスプーン」作りは、野外炊事で使用できるため需要が多くあった。持ち柄の木の部分を削ったり、色付けするなど非常にオリジナルの作品が作れることや、年齢に合わせての活動ができ満足度も非常に高かった。

また、閑散期の利用促進を目的として実施した「クリスマスナイトウォーク」には、毎回大人から小さな子ども連れの家族の参加があった。当日は綺麗な星空の下、イルミネーションで装飾されたコースを家族ごとに散策いただき好評を得た。これからも、利用者のニーズに応えられるプログラムの開発と自然の家の立地を活かした魅力ある事業を行っていく。

HPによる情報発信に努めるとともに、お友達登録者数が増えた山梨県青少年協会公式ラインや、山梨県の校務支援システムを活用した事業の告知ができたため、各事業の応募者数が定員を上回り、多くの参加者を得ることに繋がった。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

法定点検業務等、施設の維持管理・運営業務は、業務仕様書や業務計画書に基づき適正に実施されている。野外活動に供するものについても活動前に不備や破損等がないことを点検しており、利用者の安全に努めていることが分かる。引き続き、施設・設備に不具合が生じた際の迅速な報告、利用者の安全対策を行っていただきたい。また、いつ起こるか分からない災害(巨大地震、火災、悪天候等)についても、利用者の安全確保を第一に努めていただき、職員全員が迅速に対応できるよう日頃から心がけていただくようお願いしたい。

各種イベントについて、利用者満足度は高い。寄せられる意見や要望には丁寧に対応しており、サービスの提供に努めていることが伺える。これからも十分な周知期間を確保し、広報の工夫等により多くの参加があるよう励むこと。プログラムの充実、回数を増やすなどして、利用者のニーズに沿った運営を期待する。

利用者数について、R6年度は目標値を上回っている。閑散期の平日の稼働率向上についても引き続き積極的に取り組んでいただきたい。

新規利用者獲得にもつながるよう、より一層の工夫、利用拡大に努めてほしい。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

施設の維持管理、運營業務は、業務仕様書および業務計画書に基づき、引き続き適正に実施していく。また災害が発生した際、利用者の安全確保のため迅速に対応できるよう、職員全員が防災訓練を実施するとともに、日頃から防災機器や避難経路を含めた施設全般の確認、施設の安全確認を行っていく。令和7年度においても、立地を活かした魅力ある事業を実施するとともに、HPやSNS(Instagram・Facebook・X)を活用しながら施設の魅力を発信し、新規の利用者の獲得を目指す。なお、閑散期の平日の稼働率向上を目指すため、県内外の大学や高校に施設の活用例などを紹介しながら、施設利用の誘致を図る。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳少年自然の家
 所管課 教育委員会 社会教育課
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	宿泊棟利用	9,371	12,619	22,667	26,100	29,405
	キャンプ場宿泊利用	442	1,187	3,768	5,418	4,394
	日帰り利用	4,808	1,522	2,422	6,285	6,307
	利用者数合計	14,621	15,328	28,857	37,803	40,106
	目標値	40,931	15,352	29,688	40,000	40,000
	実績/目標割合	35.7%	99.8%	97.2%	94.5%	100.3%
目標値の設定方法		R2年度:前年度目標値の約0.25%増 R3年度:R2年度の実績値(14,621)×1.05 R4年度:R4年3月時点の予約状況を基に算出およびH29～H30年度日帰り利用の平均×81%増 R5年度:H28からH30年度(新型コロナウイルス感染症の影響のない期間)の延べ利用者数平均(約39,300名)の約1.8%増 R6年度:指定管理提案時、令和6年度の目標値を41,000人としたが、日韓交流事業等の受入の影響による延べ人員低下について生涯学習課と協議し、令和5年度同様の考えのもと、目標値を40,000人とした。				
利用率	稼働率等(利用率)	34.2%	63.3%	59.2%	63.2%	62.0%
	稼働率等(利用率)の算定方法	延べ宿泊室利用日数/利用可能宿泊日数				
利用率	稼働率等(利用率)	10.7%	18.6%	37.5%	45.8%	34.3%
	稼働率等(利用率)の算定方法	延べキャンプ場利用日数/利用可能日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	山梨県立愛宕山少年自然の家:定員150人 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人 ※上記2施設とも、令和4年度末で県立施設としては廃止
----------	---

3 補修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

県	観測等連絡通路改修工事	13,734,600
県	冒険ハイクブランコブリッジ修繕	977,900
管	F系統空調機修繕	524,590
管	無線LANアクセスポイント増設	489,830
管	ユニット修理 他12件	1,640,717

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	公募	売上金額の25%	247,649	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計	92,454,533	97,866,660	106,947,297	111,067,229	114,736,789
	施設利用料	809,910	1,187,360	3,323,840	4,300,550	4,682,590
	指定管理委託料	90,393,328	96,245,000	100,799,486	103,582,220	106,115,000
	追加委託料(感染症)	858,000				
	自動販売機収入	35,097	42,947	130,049	214,518	247,649
	レストラン収入	256,417		1,425,750	1,702,168	1,940,909
	事業収入(参加者負担金)		366,330	992,830	1,266,040	1,746,300
	その他	101,781	25,023	275,342	1,733	4,341
支 出	B 支出額計	91,799,522	94,415,241	95,337,181	111,452,648	115,667,810
	人件費	57,600,550	55,684,104	53,151,224	57,335,821	56,455,273
	修繕費	2,458,698	4,353,371	1,075,657	2,440,128	2,655,137
	光熱水費	3,299,701	4,053,252	7,594,452	8,521,340	9,339,258
	諸謝金	20,000	102,500	436,400	213,334	160,000
	旅費交通費	228,424	285,056	120,174	94,691	360,760
	消耗品費	3,951,383	4,717,412	3,103,486	4,379,985	3,921,389
	燃料費	2,769,056	1,126,362	5,420,780	5,268,751	5,928,340
	食糧費	145,383	184,215	676,684	901,689	1,183,640
	印刷製本費	91,694	390,171	587,226	904,967	584,419
	通信運搬費	602,087	676,227	702,937	1,312,679	830,736
	保険料	194,518	230,050	248,680	299,360	294,776
	広告料				22,000	
	使用料	1,153,087	1,905,582	2,351,244	5,950,264	6,782,348
	雑費		1,447,000			520
	租税公課	6,257,225	5,273,234	6,356,260	5,643,410	5,540,102
	その他(支払い手数料・負担金等)	336,092	141,364	129,224	239,056	349,885
	外部委託費	12,691,624	13,845,341	13,382,753	17,925,173	21,281,227
	清掃業務	6,093,993	6,093,985	6,093,984	7,151,760	7,148,515
	警備業務	409,200	409,200	409,200	264,000	275,000
	クリーニング	1,364,935	1,039,445	1,705,055	2,959,727	2,302,875
	プラネタリウム保守点検	1,111,000	638,000	819,500	0	824,725
	消防設備点検	172,458	86,229	137,500	176,000	175,890
	受水槽点検	157,300	157,300	157,300	158,950	158,950
	その他(電気設備保安業務等)	3,382,738	5,421,182	4,060,214	7,214,736	10,395,272
	外部委託比率	13.8%	14.7%	14.0%	16.1%	18.4%
	県への納付金					
収支差額(A-B)		655,011	3,451,419	11,610,116	△ 385,419	△ 931,021

一人当たり指定管理者委託料*	6,182.4	6,279.0	3,493.1	2,740.1	2,645.9
----------------	---------	---------	---------	---------	---------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
C 収入額計	710,550	967,750	1,473,020	2,227,220	2,432,620
D 支出額計	476,519	1,299,567	1,038,933	1,837,164	2,453,145
収支差額(C-D)	234,031	△ 331,817	434,087	390,056	△ 20,525

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	ナイトプログラム支援事業	施設利用者	八ヶ岳少年 自然の家
2	冬を楽しむアクティビティ	どなたでも	八ヶ岳少年 自然の家
3	利用者支援サービス	施設利用者	八ヶ岳少年 自然の家
4	施設活性化事業	周辺団体	八ヶ岳少年 自然の家

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和6年4月～令和7年3月 実施方法: 施設利用者へのアンケート 回答数: 218団体			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①ねらいや目標の達成	77.4%	22.6%		
②施設運営	84.9%	14.2%	0.9%	
③職員対応	92.3%	7.1%	0.5%	0.1%
④活動(プログラム)	90.5%	8.7%	0.8%	
⑤食堂・食事	86.7%	11.3%	1.9%	0.1%
⑥プログラム相談	64.5%	32.3%	3.2%	
施設全般の満足度	88.7%	10.4%	0.9%	
利用者の主な意見	【施設の運営について】 ・食事の時、会話ができないほどに騒がしく、廊下を走る人がおり、危険を感じるがありました。 ・他施設は利用申込、各種調整などICT化が進んでいる印象があるのですが、ハッポウ少年自然の家でもデジタル化が進むことを望みます。 【活動プログラムについて】 ・冒険ハイクの途中に水分補給用の水道があると良いと思いました。 ・冒険ハイク、絵図ハイクの説明、写真、図をネットで確認できると良いと思います。 【食堂・食事関係について】 ・生野菜だけでなく、野菜を使った蒸す・炒める・煮物などがあったら良いなと思います。 ・みそ汁がしょっぱかったので隣に薄めるポットがあればありがたいと思います。 ・子どもと大人のおかずが同じなので子どもが好むおかずと大人が好むおかずに分けて提供していただけたらなと思います。 ・値段を抑えているのは分かりますが、朝食の内容をもう少し充実させていただけないでしょうか。 【その他】 ・事前のやりとりがFAXや郵送なので手間がかかりましたので、メールやフォームが利用できるようになればありがたいと思います。 ・宿泊室のネット環境を良くしていただければと思います。			
利用者の意見への対応	【施設の運営について】 ・様々な団体が利用している施設であることを、オリエンテーション時に注意事項として伝えると同時に、随時気づいた時点で団体指導者に注意するよう伝えていく。 ・現状、学校利用に基準を合わせて利用申込書、活動計画書、食事注文表、アンケート用紙など、全ての提出書類について紙ベースとしている。プログラム相談もリモートで行うなど、デジタル化できる部分については取り入れることで、利用者の満足度向上を図るとともに、業務の効率化を図っていく。 【活動プログラムについて】 ・現状、冒険ハイクの途中に水道を増設することは難しいため、ヤッホーの丘で水分補給ができるよう、指導者に水分の運搬をお願いしている。量が多い場合はリヤカーなどの貸出しをするなどして、ご理解いただく。 ・活動資料は安全に活動してもらうよう、あえてネットではなく、プログラム相談時に説明をし、注意点を伝えながら渡していることをご理解いただく。 - また、プログラム相談後にはデータの提供を個別に対応している。 【食堂・食事について】 ・食堂業者にアンケート結果を通知し、今後の運営に反映する。 【その他】 ・ペーパーレス化やコストの削減、授受期間の短縮につながるため、書類の提出方法等はメール等でも対応できるよう、整備していく。 ・ネット環境については、ラウンジや宿泊棟の廊下等共有スペースでの環境は既に整備済みであるが、宿泊室内の整備について検討していく。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務仕様書に基づいて施設の維持管理業務を行った。職員による毎日の巡回点検により、設備の不具合や欠陥等の早期発見に努めるとともに、修繕が必要な場合には軽微なものには迅速に対応し、業者対応が必要な場合も速やかに依頼することで、利用者が安心して利用できる施設運営に努めた。 また、屋外の活動エリアについては、利用者が安心して安全に活動できるよう、枯枝や倒木、落石等の撤去作業を随時行うことで、事故防止を図った。	法定点検業務等、施設の維持管理業務は、業務仕様書・業務計画書に基づき適正に施行されている。 野外活動に供するものについては、活動前に不備や破損等がないことを点検しており、利用者の安全に努めていることが分かる。点検の結果、指摘等を受けた箇所については、速やかに所管課に報告すること。(金額の規模感が分かるように、見積書の取得も速やかに行うこと) また、いつ起こるか分からない災害(巨大地震・火災・悪天候等)についても、利用者の安全確保を第一に努めていただき、職員全員が迅速に対応できるよう日頃から心がけていただくようお願いする。
運営業務	利用者の立場に立ち、利便性や快適性を考慮したサービスの提供に努めた。 施設を利用する学校や団体に対して、プログラムの内容や施設の使い方などを説明・相談する会を開き、各団体が目標を達成し、互いに理解し合いながら円滑に活動できるよう、職員が指導・助言を行った。 主催事業に関しては、参加者が満足でき、有意義な体験ができるよう、充実した活動内容に努め、23事業(施策推進業務の一つ)を実施した。	業務仕様書・事業計画書に基づき適切に実施されている。 主催事業については、利用者の満足度も高く、好評を得ている。今後も寄せられる意見や要望には丁寧に対応し、施設運営・サービスの提供に努めること。 参加者が募集定員をやや下回った事業については、原因究明や広報の工夫等改善策を検討すること。
利用状況	令和6年度の利用者数は40,106人で、昨年度より約2,300人増加した。また、目標値の40,000人を達成することもできた。学校だけでなく、ボーイスカウトやガールスカウトなどの青少年団体、一般団体などの利用が県内外共に増え、また、県内の少年自然の家が当施設のみとなっていることが主な理由と考えられる。 主催・自主事業の多くは定員に達することができた。主催事業の一つである「春を探しに清里へ～GWを楽しもう」では、ゴールデンウィーク中に、家族で自然の家に宿泊し、活動プログラム(美し森絵図ハイク、スコアオリエンテーリング、野外炊事、星空観察)を体験することで、自然の家への理解を深めつつ、家族の交流や心身のリフレッシュを図ることを目的とした。主催・自主事業も参加者の反応は良好で満足度も高い。県内小学校、保育園、幼稚園、県内外関係施設・団体へのチラシ配布、HP、SNS (Instagram・Facebook・X)での情報発信など、広報の拡充を図ったことが利用促進に繋がったと考える。	目標値を達成することは出来た。 今年度からの新規事業「クリスマスナイトウォーク」を11月・12月に行っているが昨年度同月に比べ、延べ利用者が倍近くになっており、閑散期の増加に繋がっている。 リピート利用拡大を図るため野外活動、課題学習、キャンプ活動、創作活動、天体観測、室内活動など各種体験プログラムの開発に取り組むこと。また、引き続き、新規利用者獲得にもつながるよう、積極的な施設のPRと新鮮な情報提供を進めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

収支状況	利用者数の増加に伴い、収入においても昨年度より約110万円増加した。 なお、支出についてはエアコンの使用 方法の工夫を行うことで、光熱費の削減に努めた。また布団の滅菌作業を職員が行うなど、経費削減を常に心掛け、職員の意識徹底を図った。	今後も、サービスの質の維持に留意しながら、備品や設備の使用方法の工夫等により支出経費削減に努めること。
自主事業	令和6年度は4事業を実施。 また閑散期の利用促進を目的に実施した「ナイトプログラム支援事業」や「冬を楽しむアクティビティ」など多種多様な事業を実施し、自然の家の周知を図り、利用促進に繋げた。	魅力的な事業を実施し、併せて、閑散期の利用促進を目的とした企画にも取り組んだ。 今後もより一層の工夫を期待する。
利用者満足度	利用者からの指摘については、まず関係する職員間で情報を共有し迅速に対応した。その対応内容は、朝礼や職員会議で周知し、今後の時事業運営に活かしている。また、規模の大きな指摘については、朝礼や職員会議で検討を行ったうえで、できる限り速やかに対応するよう努めた。 利用者からの意見や要望に対して、迅速かつ丁寧な対応に努め、安全かつ安心できる施設運営に努めた。	利用者満足度は、いずれの項目でも高い評価を得ている。 利用者からの指摘事項については今後も自然の家の利用目的を保持しながら迅速に対応し、利用者の意見やニーズを踏まえた運営をすること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
施設の利用 促進業務	【指標】 プログラムの開発数(既存の見直しを含む) 【目標値】 4プログラム(既存プログラム数の1/10) ※既存プログラム43あり。 【実績】 4プログラム。目標を達成できた。 (実施内容) ・新規開発:3プログラム ※葉っぱのスタンプ、森の宝探し、カスタネット作り ・既存の見直し:1プログラム (参考事例:利用者支援サービス) R6年度、活動用消耗品として、野外炊事での割り箸、紙コップ、カレー皿、スプーン、食器洗い洗剤、液体クレンザーを販売。利用者の需要に伴う品目の販売をした。	自然豊かな環境を活かす事業の開発や同プログラムの内容を増やすなど見直しに、努めること。 社会教育団体と連携し利用者促進につなげられる。実際の利用者(団体)の声を聞く意見交換を通じて、寄せられた意見や要望を、今後の自然の家のあり方や運営方法の参考とすること。
施設の特 色・立地条 件等を生か した事業の 実施	【指標】 事業数 【目標値】 23(事業計画における事業数) 【実績】 23事業。天候にも恵まれすべての事業が実施できた。 (参考:好評事業)「自然の家フェスティバル(地域交流)」 (内容) ステージショー、プラネタリウムから星空さんぽ～、冒険ハイクに挑戦しよう!、シャボン玉で遊ぼう!(協力:山梨学院短期大学 加山先生)、クラフトコーナー(スカイスクリュー・紙飛行機)、朝日ヶ丘地区コーナー(クラフト・高原野菜販売)、キッチンカーコーナー。 事業名を「自然の家フェスティバル」とし、地域交流に加え、お祭り感を演出した。当事業を自然の家のお祭りとして定着を図り、当施設の利用のきっかけとなるよう継続的な開催を想定している。	今年度は天候に恵まれ、23すべての事業が遂行出来たが、今後は、悪天候を想定し、代替案を考えておくこと。開催時期を変更するなど柔軟かつ臨機応変な対応が出来る体制を整えることが望ましい。 野外炊事時に使用できる「木のスプーン」作りなどこれからも立地を活かした魅力ある事業を実施するとともに、利用者からの様々な声を聞き、常に新しいプログラムの開発に努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

少年団体指導者等を対象とした研修・研究事業の実施	【指標】 研修参加者数 【目標値】 100人(R5年度実績×1.05) 【実績】 103人。目標値を上回っている。 (実施内容) 八ヶ岳利用者研修会 2回(日帰り) (実施目的) 当施設の利用を予定している学校、団体引率者が、集団宿泊活動や、野外活動の意義を理解し、活動プログラムを組み立てるうえで必要な指導知識や技術の習得を図る。 (周知方法) 今年度を利用を予定している学校、団体の引率利用者に郵送で通知。	八ヶ岳利用者研修会への参加は、引率する学校や団体の実際の活動をより効果的なものにすることに繋がるため、引き続き、開催目的を対象者に的確に伝え、参加を積極的に促すよう努めること。
閑散期(11月～3月)の利用拡大	【指標】 閑散期の利用者数 【目標値】 7,382人(R5年度実績値×1.05) 【実績】 7,408人。目標値を上回っている。 (イベント開催内容) ・ファミリーキャンプ 1回(1泊2日) ・マッシュルームキャンプ 1回(1泊2日) ・利用者との意見交換会 1回(日帰り) ・八ヶ岳星空観望会 2回(日帰り) ・クリスマスナイトウォーク 6回(日帰り) ・家族で泊まろう 4回(2泊3日) ・月見里観望会 1回(1泊2日) ・きよさとさんぽ 1回(1泊2日) (高評価だったもの) クリスマスナイトウォーク	利用者の満足度も高く、ほぼ定員を満たしている。 新規事業のクリスマスナイトウォークについては、参加者から高評価を得ている。次回も、十分な周知期間を設けたうえで、当プログラムの魅力が伝わるよう、広報活動を強化すること。県内小学校、保育園、幼稚園、県内外関係施設・団体へのチラシ配布、HP、SNS(Instagram・Facebook・X)での情報発信など、広報の拡充を図ること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

